

リニューアルオープン記念シンポジウム

「建物から語る板橋区立美術館」

2019.7/13(土) 14:00～16:40

会場：板橋区立美術館 講義室



山名善之
(東京理科大学教授)



柳学
(柳学アーキテクト)



尾崎文雄
(Studio REGALO)



米山大三郎
(東京理科大学大学院)



坂本健
(板橋区長)



松岡希代子
(板橋区立美術館館長代理)

先着100名
入場無料

板橋区立美術館は、初めての区立美術館として1979年にオープンしました。開館以来、小規模館ながら、幅広い展覧会活動、個性的なコレクション形成、教育普及事業などの活動を続けています。板橋区立美術館の建物は約40年前に建築家の村田政真によって設計されました。このたび約一年をかけて、設備の刷新と、今後のより良い活動のために、大規模改修を実施いたしました。これまでの活動を継承しつつ、新しい時代に対応する美術館とはどんなものか。改修という制限のある中から、多くの専門家のご協力をいただき、めざす形を見つけていきました。

今回のシンポジウムでは、この改修に関わった人たちが、何を考え、何を目指したのか、お話し、村田政真にも改めてスポットを当ててみます。第二部では、これから増えてくるであろう美術館の改修について検討を深めていきます。

第一部

- | | |
|-------------|-----------------------------------|
| 14:00-14:20 | 「板橋区立美術館の歩みと今回の改修で考えたこと」松岡希代子 |
| 14:20-14:40 | 「新たな価値をもつ美術館が魅力創造発信都市“板橋”をつくる」坂本健 |
| 14:40-15:00 | 「改修の要点」柳学 |
| 15:00-15:20 | 「展示施設としての機能充実について」尾崎文雄 |
| 15:20-15:40 | 「村田政真再評価」米山大三郎 |
| 15:40-15:50 | 休憩 |

第二部

- | | |
|-------------|---|
| 15:50-16:10 | 「美術館の大規模改修に求められること」山名善之 |
| 16:10-16:40 | 合同討議
司会…山名善之
登壇者…柳学・尾崎文雄
米山大三郎・松岡希代子 |